

安全未来特定認定再生医療等委員会

議事録要旨

第 311 回 8 部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1-19-11 グランデール溝口の口 502 号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 井上 陽

安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

第 311 回 第 8 部

2026 年 7 月 29 日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったので、その議事録要旨を作成する。

【議題】

医療法人医誠会 大阪医誠会がん・神経難病治療クリニック
定期報告「 $\gamma\delta$ （ガンマ・デルタ）T 細胞療法」
（申請者：管理者 大西 秀哉）

【日時場所】

日 時：2026 年 7 月 28 日（火曜日）第 8 部 18：40～19：05

開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル

第1 審議対象及び審議出席者

1 出席者

出席者：委員については後記参照

陪席者：（事務局）坂口 雄治、坂口 千恵、奥野 礼子

2 技術専門員 角田 卓也 先生（評価書）

昭和医科大学医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門 特任教授
及び昭和医科大学医学部 統括がん情報センター長

3 配付資料

資料受領日時 2026 年 7 月 22 日

（本審査資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書

（事前配布資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書

（会議資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）

- ・定期報告フォーム
- ・年間 教育・研修記録文書
- ・技術専門員による評価書
- ・評価書に対する施設側からの回答書

第2 審議進行の確認

1 認定再生医療等委員会（3種）の出席者による成立要件充足

以下の1～4が各1名以上出席し、計5名以上であることが成立要件 ただし1に掲げる者が医師又は歯科医師である場合にあっては、2を兼ねることができる。	氏名	性別（各1名以上）	申請者と利害関係無が過半数	設置者と利害関係無が2名以上
1. a-1. 医学・医療1	高橋 春男 藤村 聡 山下 晶子	男 男 女	無 無 無	無 無 無
2. a-2. 医学・医療2	森 吉臣	男	無	無
3. b. 法律・生命倫理	井上 陽 泉 貴智	男 男	無 無	有 無
4. c. 一般	中村 弥生	女	無	無

事務局の坂口雄治が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、「本再生医療等提供計画に関する役務の提供の関係による除外条件」も含めて、すべての条件を満たしていることを各委員に宣言した。

第3 審議

1 質疑

計画の科学的妥当性の評価方法の適切性及び当該評価の結果について検討を行ったほか、つぎのような質疑応答があった。

井上	角田先生からの評価書でいくつかご指摘いただいております、それに対して施設からの回答があります。この回答で、角田先生のご指摘の回答に十分なっていますか
藤村	① は、再生医療等の名称が間違っていたのですね
山下	それは訂正されています。腫瘍マーカー以外の画像もこれから診断して対応するということなので、しっかりやってください
井上	2例7件で回数が多いですが、安全性や妥当性のところでご意見はありますか
山下	2例7件は多すぎると思います。短いスパンで頻繁に行われています
森	1か月に1回か2回ぐらいだと多いと思いますが、そこまで多くはありません

山下	特に高頻度というわけではないということですか
森	これぐらいの頻度であれば、普通にやります
高橋	高頻度でやるのはいいとして、投与後にまめに検査していないようなイメージです。6回ぐらい投与していますが、これだけあるならもう少しデータを見ながら考えるのが普通です。角田先生も書いていますが、きちんと検査をやって、適応があるということを見極めながらやってほしいです
井上	最初から回数が多いのが前提だとしても、各回ごとに検査はしていただいて、結果を見ながら進めていただきたいということですね
高橋	角田先生の評価書に対する回答書③のところですが、1回だけの検査ではなく、もう少しきちんと検査してやった方がいいと思います
森	効果があったかどうかというところですが、23年9月に診断されて、26年4月13日が最後の投与です。診断から3年ぐらい経っていて、進行はしていますが、延命にはなっているので、効果はあったのではないかと思います
山下	数値を見ると、だんだん悪くなっているとしか判断できませんが、もし、治療しなかったら、もっと悪くなっていたかもしれないということですね
井上	もっと悪くなるというのはデータには出てきませんので、わかりません
高橋	CEAが悪化しているからどんどん打っていかうと、患者さんにもおそらく説明しているはずで、それが無いのがちょっと疑問に感じます
森	抗がん剤も何も効かなくなって、患者さんに延命を望まれたんでしょうね
山下	数値も悪くなって、腹水もどんどんたまっていつているし、詳細からはどんどん悪くなっているようにしか見えません
森	膵臓がんに関しては、これでどんどんよくなって治るということはほとんどありません
山下	膵臓がんは、どんどん悪くなると聞きます
藤村	最終判定は2月で、その後も治療を続けています。存命されているかどうかはわかりません
井上	森先生がおっしゃるように、患者さん本人の一日でも生きたいというご希望に沿っています。逆に、初回審査の時には、そこにつけこまないようにという感じで、委員会としては意見を述べています。同意など十分に取っていただきたいということを提案したいと思います
中村	かなり厳しい段階まできている患者さんが、治療を受けたいというご自身の希望で受けていらっしゃるのだらうと思います。この後どうなったのか、治ることはないにしても、少しでもご希望が叶うといいと思います
井上	教育・研修は、院内外共十分に行われていますので、定期報告としては適切とさせていただきます。引き続き人の命にかかわっておられることなので、十分慎重に進めていただき、投与回数が多いので、その度に数値を取っていただきたいということを意見として付したいと思います

2 判断

審査の結果、報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。

ただし、投与回数が多い場合は、その度に数値を取って慎重に進めていくことを要請するものとする。

第4 審議結果

定期報告は適切である。

以上